

支部活動報告



第59回
富山県インテリア
デザインコンクール
主催：TIS 富山県インテリア設計士協会

富山県インテリア設計士協会では学生デザイナーの飛躍を願い、年に1回、家具組合連合会の家具展と併催でインテリアデザインコンクールを行っている。第59回目の今年は9月29～30日富山県民会館で作品展示が行われた。学生の斬新なアイデアが生かされた図面や作品が42点集まり、「日本インテリア設計協会会長賞」をはじめ「富山県インテリア設計士協会会長賞」「富山県知事賞」「高岡市民賞」など10人に賞状が贈られた。



富山県インテリア設計士協会 後藤会長
日本インテリア設計士協会 会長賞
花井 優月さん
富山工業高等学校



業界で活躍するインテリア設計士

高嶋 陽子 さん
2007年登録
一級インテリア設計士 (2128)
兵庫県インテリア設計士協会 所属



店舗ファサードデザイン collaboration 岩田健三郎先生

新築

新築：マンション風の 2×4 平屋住宅

ビルディングリノベーション モデルディスプレイ

産婦人科病棟リノベーション

◆兵庫支部(HIS)では理事を務め、講師やHP制作を担当しています。
現在、主人と一緒に建築設計・施工の会社を自営しており、インテリア設計士・建築士・エクステリアプランナーとして、住宅・店舗・病院・介護施設・職業訓練校・会社・ホテルなどの新築・リノベーション・ディスプレイ等、幅広く手掛けています。
HIS主催の研修では、美術作品や工芸作品の鑑賞や製作体験、古建築から新建築の探訪、その土地の食や自然や文化を通じ、幅広い視野と感性を磨く経験をさせて頂き、大変感謝しています。

OFFICE・Hy+ (オフィス・エイチワイプラス)



新築：自然素材の平屋住宅×千本格子

迎賓館リノベーション

住宅リノベーション

住宅リノベーション

一般社団法人
日本インテリア設計士協会
編集：日本インテリア設計士協会 会報編集室
〒541-0059 大阪市中央区博労町1-6-14
Tel. 06-6262-1488 Fax. 06-6262-1553
E-Mail. sjit@jp-interior.or.jp
発行責任者：古田 廣己 編集：事務局

インテリア設計士への想い

会長 古田 廣己



私は第52期通常総会で一般社団法人日本インテリア設計士協会の9代目会長にご指名頂きました。歴史と伝統のある本協会の会長を任されることは、大変名誉なことであり身の引き締まる思いです。我が国のインテリアは近年、デザイン・技術の目覚ましい進歩により、欧米に劣らぬ快適な住生活が送られるようになりました。今日「インテリアは成熟期に入った」といわれるようになりましたが、これからも社会と共に創造され続けていきます。それ故に、インテリア設計士の果たす役割は益々重要といわなければなりません。さて、私は昨年8月、足田前会長に同行し、三重県伊勢市で開催

された第50回全国高等学校インテリア科教育研究大会(全イ研)に参加しました。大会は講演、研究発表、作品展示などで大変盛況でありました。しかし、ある先生から「全国のいくつかの工業高校インテリアデザイン科は建築に組み込まれてしまい、インテリアデザインは教科が少なくなり大変残念です」とインテリアデザイン科の現状を憂慮された発言がありました。また、今年5月には愛知県の工業高校建築科の先生から「3年生でインテリア関係に就職希望する生徒が何人かいるが、全くインテリア関連企業から求人が来ない、どうしたらいいのだろうか?」と相談がありました。このような現状の話を聞き、私は心が折れる想いが致しました。いずれの話も、本協会には深く関与しています。インテリアが社会に果たしている存在は大きく、職業にインテリア関係を希望する学生、社会人が増えていることも事実です。業界発展を期し、学校、学生に手を差し伸べていくことはインテリア設計士協会として大事なことでないでしょうか。インテリア設計士としてどのような貢献ができるのか、今一度問い直し考えていきたいと思えます。

第58回インテリア設計士資格検定試験実施報告

全国13支部協会
19会場で実施
受験者数と合格者数
(合格/受験)

第58回インテリア設計士資格検定試験が7月7日・8日に行われた。しかし当日は豪雨災害があり、西日本の試験会場ではほとんどの会場で延期となった。58年の歴史のなかで初めてのことであったが、各支部協会が責任をもち無事に実施できた。
受験・合格は別表のとおりで、受験者761人(前年比95%)、2科目合格者は536人(同90%)で昨年と比較すると若干の減少であった。
試験問題についてはHPに掲載しているが、「2級実技問題」は例年同様「私室のインテリアデザイン計画」である。今回は21.66㎡の空間の西側壁面を造り付け家具スペースとし、北側に有効幅850mmの出入り口を自由な場所に設けた。南側には、幅2700mmの大きな窓を設けた空間構成となっている。西側にエアコンがあり、造り付け家具との組み合わせがポイントであった。
図面は例年レベルアップしているが、6項目すべて時間内に描き上げることが求められ、ひとつの項目が抜けている作品などは採点外となるため残念であった。
「2級学科試験」は出題数18問(昨年18問)、アイテム数は150アイテム(昨年159)と昨年とほぼ同じで、少子高齢化社会に向けてのインテリア設計、安全な住環境、和洋室内造作の問題などを重点的に取り上げた。
「今回は難しかった」という意見もあったが、全国平均点(66.6)をみると妥当なものといえるだろう。
※1級については割愛する。

	1級		2級		受験者合計	2科目合格者	
	認定	2科目	実技	学科			
宮城	-	-	35/50	1/1	2/3	54	38
福島	-	-	-	-	-	-	-
埼玉	-	-	-	-	1/1	1	-
東京	-	2/2	24/35	-	2/4	41	28
神奈川	-	0/2	-	-	-	2	-
富山	-	-	-	-	-	-	-
石川	-	-	14/30	-	-	30	14
愛知	-	-	30/41	5/5	0/1	47	35
京都	1/1	-	256/370	2/2	1/4	377	260
大阪	1/1	-	37/57	-	0/1	59	38
兵庫	-	-	-	-	-	-	-
奈良	-	-	21/21	-	-	21	21
鳥取	-	-	-	-	-	-	-
広島	-	-	7/9	-	1/3	12	8
山口	-	-	-	-	-	-	-
高知	-	-	57/69	1/1	-	70	58
長崎	-	-	-	-	-	-	-
熊本	-	1/1	15/28	-	-	29	16
大分	-	-	20/20	-	-	20	20
合計	2/2	3/5	730	9/9	7/17	761	536

SJIT 第52期通常総会 in横浜

2018年5月19日・20日 / ホテルメルパルク横浜



一般社団法人日本インテリア設計士協会 第52期通常総会

一般社団法人日本インテリア設計士協会の第52期通常総会を神奈川県横浜市で開催した。

当日は、風の強い日だったが横浜港山下埠頭の近くでマリニタワーの横に位置する「ホテルメルパルク横浜」2階の琥珀の間に全国から支部協会の会員並びに代表者総勢65人が集まった。

総会の冒頭には今総会で会長を勇退する疋田会長の挨拶があり、その後審議が始まった。事業報告・収支報告・監査報告の後、第三号議案で会長交代並びに定款変更の件が審議され、第九代会長に古田廣己氏を承認、併せて、前会長の疋田友一氏の常任顧問就任も承認された。そして、古田会長新体制のもと、第52期の事業計画並びに予算審議に入り、何れも問題なく承認された。

今期の事業計画に触れると、今期から基本方針・取組みスローガンを掲げ、より分かりやすい計画となっている。活動計画には当会目的実現の為に二本の柱として①検定受験者の拡大②支部協会の活性化による会員定着率のアップが大切であるとしている。今後、各支部協会の取り組みにも期待したい。

総会の最終議案第6号議案では、次期総会開催地が審議され、愛知県名古屋市の開催地となった。

総会の後、公益社団法人/横浜歴史資産調査会・常任理事：米山淳一氏による講演があり、横浜市の「歴史を生かした街と観光」について興味深い話を伺った。

その後の懇親会は植田名誉会長の乾杯で始まり、恒例の支部紹介が盛り上がった。

総会二日目は、朝食の後ホテル前から観光バスで市内観光に出かけた。朝から天候に恵まれ、



疋田前会長



植田名誉会長



東京支部

神奈川支部



埼玉支部

すがすがしい晴天のもと、開港記念会館などを車窓より眺めながら「港の見える丘公園」を訪れた。公園からの港の展望も素晴らしい、暫く時間を忘れて散策し、異人館である山手西洋館を見学した。後、明治の豪商原三溪により公開された三溪園をガイド付きで見学した。同園に存在する貴重な建物も興味深く観察することができた。

観光・見学の後は、お待ちかねの昼食となり、横浜中華街「上海料理 状元楼」で本場の中華料理に舌鼓を打った。昼食後は中華街の散策も兼ねてのショッピング。大変充実した二日間を過ごすことができた。

今回、総会の設営並びに運営をお願いした神奈川・東京支部に感謝したい。

(副会長・元山 ゆたか)



港の見える丘公園



イギリス館



山手 111 番館



三溪園

(写真協力：奥田顧問)

支部協会紹介のページ

MIS 宮城県インテリア設計士協会

事務局：宮城県仙台市宮城野区銀杏町 34-13
須藤デザイン事務所内
〒983-0047 TEL. 022-291-4473
会長 / 事務局長：須藤 秀晴



東日本大震災から7年になりますが宮城県の復旧回復をご支援いただきました各支部の方々へ御礼を申し上げます。大変ありがとうございました。

さまざまな立場の人たちが迅速で、交通、医療、支援物資等に関わっていただき、一部、海岸通りの地区を除けば、何とか平常な生活ができるようになりました。

国内では今年も西日本豪雨、北海道地震、台風など自然災害が相次いでいますが、これからは被災地の教訓を発信し、将来の災害に生かしたいと思っています。

さて、MISでは過去、受験生が270人のときもありましたが、近年は少子化やインテリア科の縮小の影響をもちに受け、大学2校、専門学校1校が主となり約60人前後の受験生です。

もう一度原点に戻り、東北を盛り上げるべく活動してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(会長・須藤 秀晴)



開発が進む長町エリア

KIS 高知県インテリア設計士協会

事務局：高知県高知市旭町 2-22-58 国際デザイン・ビューティカレッジ内
〒780-0935 TEL. 090-7789-2711
会長：上岡 直司 / 事務局長：横飛 弘



横飛さん 植村先生 山本先生 尾崎先生 上岡さん

穴吹デザインカレッジ 高知工業高等学校 松山聖徳高等学校

高知県インテリア設計士協会は高知市旭町に事務局を設置しております。高知県に事務局はありませんが四国での活動をカバーし検定試験会場は現在「高知県高知市内」「香川県高松市内」「愛媛県松山市内」の3会場で開催しております。

四国3県の高校生・専門学校生を中心に毎年70人近くの受験生が検定試験に挑戦します。

四国と言えば太平洋・瀬戸内海が思い浮かびますが、森林率は75%と高く標高西日本1・2位の「石鎚山」「剣山」を誇る四

国山脈からなる森林の銘木は、遠い昔から全国各地に名声を発信してきました。

21世紀初期末期を終え中期を迎える時代にさしかかり、インテリア界においても素材としての「木」の関心度はさらに加速しています。豊かな森林王国四国は「木の文化圏」としての風土や生活に根差した「NEW四国デザイン」を発信すべく、当支部協会としても、若いインテリア設計士の育成と活躍のサポートに努力していきます。(会長・上岡 直司)



フナの群生



四国山脈



フナの大木

SJIT 通信編集後記

猛暑に始まり、大雨や地震・台風の猛威に襲われた夏が過ぎ、透き通った朝夕の空気に、秋本番が感じられる季節となりました。

当会の検定試験でも災害とはいえ、合格発表が約1か月遅れるなどご迷惑をお掛けしました。

本号でも取り上げていますが、今年の全国総会では第9代目の会長の誕生しました。昭和32年(1957年)に「全日本室内装備設計士協会連合会」として発足後、歴代会長は近畿(京都・大阪)から選ばれており、新会長ははじめての近畿圏外からの選出という、節目の総会になりました。そして、半世紀以上の歴史を

築いてきたことは会員の皆さまのおかげです。

現在「インテリア設計士」の商標登録手続きを進めており、年末には登録が完了する予定です。インテリア資格で最長の歴史をもつ「インテリア設計士」の認知度を高めるためにも、PR活動に力を注いでまいりますので、会員の皆さんも、名刺やホームページに記載するなど、より一層のご協力をお願いする次第です。

今後もSJIT通信では「業界で活躍するインテリア設計士」で、たくさんの方を紹介してまいりますので、メールまたは郵便で情報をお送りください。

最後になりましたが、本号作成のためご協力いただきました皆さまにお礼申し上げます。(事務局・岡崎 正明)